

社会福祉法人北杜（所在地：秋田県秋田市）

事業名

ほくと生涯学習教室 中通クラス

事業の趣旨・目的

- ・文化体験を体系的に学べる場
- ・障害のある人もない人も共に過ごし学べる場とすることで、お互いに理解し合い、共に生きられる地域づくりを目指す。

事業実施体制・連携先

- ・秋田市障がい福祉課 市内在住の対象者への周知。（予定）
- ・秋田市生涯学習課 講師の派遣などの協力。（予定）
- ・特別支援学校 卒業生、在校生への周知。（予定）
- ・秋田大学 藤井教授 事業へのアドバイス
- ・聖霊女子短期大学 寺谷専任講師 事業へのアドバイス
- ・社会福祉法人北杜法人本部伊藤課長 講師派遣、活動場所の提供、会計

事業内容

- ・法人職員の専門的で文化的な知識や技術と、仕事で培った支援技術を活かした、障がい者の生涯学習教室を定期的に開催する。
- ・当事者にとっては仕事やサービスの場以外で集まり学び語らう場やサードプレイスとして、また支援者や参加者にとっても障害理解のみならず生涯学習の場となることが期待できる。開催予定の会場は秋田駅から徒歩10分程度であり、公共交通機関でアクセスしやすい場所である。
- ・メインの講座e-スポーツ講座は障がい者支援施設ほくとで導入実践しているもので、自分でプレイするのはもちろん、他の人を応援する場面も非常に盛り上がり、ゲーム画面の中では障がいのあるないにかかわらず活躍できることも魅力である。また、通常のコントローラーを両手で握れない場合でも、ハブをつないで本人が押しやすい位置にボタンを設置することができます。本人がプレイしやすい環境を整えていく事で、ゲームはできないと思っていた人でもプレイしてゲームの中で活躍することができる。当事者が障害等を理由に諦めかけていたことを実現するだけでなく、ゲームを通じた人との交流や、体験が当事者同士の間関係形成、練習に取り組んで達成する成功体験、他者と協力する協調性など多くの学びにつながることを期待できる。
- ・このほかにアート教室、防災教室を予定している。アート教室では絵の具などを使ったりデジタルを使ったりして作画し、自分で表現したものをキュレーションして、意味付けすることで、他者に伝わりやすくなる。自由で様々な表現が意思表示の手段となることを学ぶ。防災教室では、体験的な活動を多く取り入れ、災害時の対応などについて主体的に学べるようにする。参加する当事者の言葉を大切にしながら講座を組み立て、基礎的な知識や技能の習得を目指すだけでなく、災害時の避難所などにおいて支援される側から支援する側の人材育成へもつなげていきたい。

事業終了後の目指す方向性

- ・障がいのある方々のサードプレイスとして、定着・継続できるようにする。
- ・行政や障害福祉の分野との連携により、地域づくりの一翼を担う。
- ・サポーター・ボランティアの養成を行い、地域に根ざした継続的な取組とする。

その他

昨年度の取組やHP、公開している情報などがあれば、記載すること。